

たんぽぽ

NO15

だより

2004年2月・3月

日本共産党 川西市議会議員

黒田みち

市政にたいする要望・ご意見をお寄せください。

日本共産党川西市議団控え室

☎740-1111 (内線4020)

FAX 759-1811

みんなが

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

と思える川西市に……

くらし・福祉・

教育最優先の市政めざして

日暮れがどんどん遅くなって、春のおとずれを感じます。

お元気でお過ごしでしょうか？



小雪の舞う中、イラク派兵反対の集会に参加しました。

集会参加の沖縄戦を経験した男性が「自分の母は日本の軍隊に殺された。それが戦争だ。止めなければ！」と訴えられました。毎日伝わってくるイラクでの惨事。どうか誰も傷つかず、殺される事がないようにと願わずにはおれません。

「大量破壊兵器は存在しなかった」とアメリカのイラク調査グループの最高責任者デビット・ケイ氏が辞任をしました。「戦争を肯定し、あおりたてる事がないように！」「愛する家族や友人・知人を戦争には行かさない！」と声に出し、行動していく事の大切さを痛感しています。

先日、ラジオで「日本はイラク派兵を人道支援だと言い過ぎだ。アメリカの指揮下、アメリカ・イギリスの後方支援に行っている事を言うべきだ。イラクの人は過剰な期待をさせられている」と今の報

道のあり方を問われていました。

この日本の国は憲法9条に守られ、自衛隊が海外で殺された事も殺した事もあります。

私たちの願いとは反対に日本を戦争する

反戦 いま 言わな きや

「行くな 行かさん 自衛隊！イラク派兵反対集会」が二十五日、兵庫県伊丹市の昆陽池公園で開かれ、近畿各地から千五百人が集いました。幅広い団体・個人でつくる実行委員会が主催。寒風が肌を刺すなか、「労働組合の存在に於いて、テロも戦争もない世界をつくるために頑張る」「兵庫労働」「子どもたちの瞳が曇らないように憲法を守り抜く」「小学校教師」など平和への熱い思いがあふれました。

川西からも多数参加



シが寄せられました。「集会アピール」を拍手で確認し、「占領軍支援のイラク派兵反対」と唱和しながら陸上自衛隊中部方面総監部までデモ行進。「ヒューマンチェーン」で総監部を取り囲み、大きなウエーブが湧き起こりました。

つれづれに…

先日、地域の方にお話を聞きますと、「まじめに生活している者が幸せにならなかん。今はお金の使い方がおかしい。」との事。「国は政党助成金だ、道路にはどんどん使う、高速道路無料化言っても、結局税金や。年金の私らがかけてきたお金はどうしたん？川西も同じや。お金ない言うて、値上げばかり。年寄りとかことも・障害もってる人、大事にせな、やさしいなりませんで・・・みんな。わたしがこの川西、支えてきましたんや、人間が大事にされるんは当たり前でっしょ？！」

2月26日から定例の3月議会がはじまります。来年度の予算を決める大事な議会ですが、12月議会の値上げ案でもひどかっただけに3月議案があんじられます。10年で94億けずるためにはじまった行革計画。大変だから前倒して計画を急ぐとか・・・。

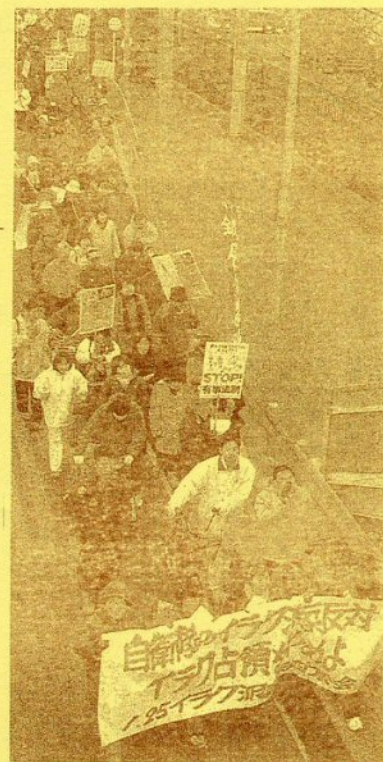
財政難と言いながら強引にすすめる中央北地区開発。公社が持っている土地は地価がもう半分くらいだとか・・・川西市はその土地を元の値段どころか事務経費なども含めた薄価で買い、見通しのない開発をすすめようとしています。

赤字再建団体になるからと市民にはガマンをさせて開発に何百億とつぎこんでいく予定。全部市民の借金ですから・・・意見を言わねばなりません。

国に作り変え、実態にあわれないから憲法を変えようという大きな力が今、明らかになってきています。

人権を考え、平和を貫いていく一歩をぜひ、と一緒に歩みはじめませんか？

ごみ施設建設は当初予定の3倍の土地と全く関係のない土地購入まで1市3町でお金を出す予定。このまま借金ばかり増やしたら大変な事になります。川西市が開発会社になったり、ゼネコン大企業にばかり融資する間違った方向にいかず、自治体本来の仕事・住民のくらしを守っていくことにお金を使ってくれるようにぜひ、声をあげましょう。



力強いシュプレヒコールをあげて自衛隊基地の前をデモ行進する参加者＝25日、兵庫県伊丹市

1500人 基地囲む

兵庫・伊丹



メーデー

（なかつくま・たく
ろう）元ワイドショー
プロデューサー）

國際法も否定する暴論

余地はありません。

自衛隊派兵予定地の安全を強弁する
ためにサマワ市の評議会が「存在
する」とした首相答弁が虚偽である
ことも明らかにされました。首相は
答弁撤回に迫られました。これ

自衛隊がイラク戦争の継続としての占領に参加することは、米中央軍司令官のもとにある連合国暫定当局（C P A）が明らかにしています。

たらない問題です

先遣隊が評議会議長に面会もして

いないのに、防衛庁長官が「会談した」とのべ、「議長代理」「評議会の代表」と答弁内容を変えたのも、当初の答弁が虚偽であることを認めざる

危険な誤つた道

自衛隊のイラク派兵は、日本の軍隊が他国の領土で他国民を殺害し、自衛官からも戦死者を出すかもしれないという危険で根本的に誤った道を開く暴挙です。

「国際法の適用を受けない」と言い張るのは、占領が憲法の禁止する交戦権の行使にはよって、この暴挙を強行しているのは、それがいかに国民の意思に反するものであるかを示しています。

かならないからです。海外の戦場に派兵しながら国際法の適用を拒否するのは、かつて敵国の捕虜を残虐に扱い国際社会の厳しい批判をうけた日本は、戦争と占領への加担の道を進むのか、それとも憲法九条を生かした平和の道を選択するか、まさに歴史の岐路にたっています。

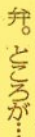
「小泉内閣の言い分は、現実と食い違い、つじつまのあわないウソである。追及していかなければなりません。」

イラク派兵計画を撤回し、派兵のくわだてをやめさせるために、さらに小泉内閣と自民、公明を徹底的に追及していかなければなりません。」

二十八日午前の衆院予算委員会。冒頭、小泉首相と吉破茂防衛庁長官が「評議会が存在しているとの発言を撤回する」とのべたこと

ぎには知っていた。知つていながら「有効に機能している」という謗弁を夕方にやっている。

石破 承知のうえで謗



つまり、昼過

には知っていた。知っ
ながら「有効に機能
している」という謗弁を
にやっている。

の審議入りが結局できな
なりました。

は「サマワ市評議会の議長、議長代行、そして代表というふうに答弁内容が変わっていったということをは指摘のとおり」と答えていた。

じていらっしゃる方が多いのではないで しょうか？

先に「治安安定ありき」の陸自先遣隊報告書のシナリオを驕った赤嶺議員の追及を報じる各紙